

日本語と中国語における漢字同形語（二字漢語動詞）の意味や用法の相違に関する研究

—中国人日本語学習者（1000人）を対象とするアンケート調査を中心に—

A Study on the Differences in the meanings and usages of the Japanese-Chinese

Homographs (two-character Kanji verbs)

Focusing on A questionnaire survey of 1,000 Chinese learners of Japanese

侯 遠方

HOU Yuanfang

提要：本研究主要是调查了中国的日语学习者（1000人）对于日语中的二字汉语（动词）的习得情况。经调查发现，（1）日语中的二字汉语动词和汉语中的同形词在词义表达上有差异的情况下，由于受到汉语的影响，中国的日语学习者往往会使用汉语式的日语表达；（2）日语中的二字汉语动词和汉语中的同形词在使用对象有区别的情况下，中国的日语学习者容易掌握和汉语类似的表达，但是对于日语中特有的表现的掌握程度会偏低；（3）日语中有一部分二字汉语动词同时具有形容词的功能，而汉语中的同形词主要作为形容词使用。由于受到汉语的影响，许多中国的日语学习者容易将这类二字汉语动词误当作形容词，以「～な」「～的な」的形式使用。

キーワード：アンケート調査 日中同形語 二字漢語（動詞） 使用対象 品詞性

目次

- 1 はじめに
- 2 アンケート調査の詳細と分析
 - 2.1 意味的相違のある二字漢語（動詞）の習得状況の考察
 - 2.2 使用対象における相違点のある二字漢語（動詞）の習得状況の考察
 - 2.3 品詞的には異なっている二字漢語（動詞）の習得状況の考察
- 3 日中漢字同形語および類義の和語の使い分け
 - 3.1 日本語の「包围」と中国語の“包围”の共通している用法
 - 3.2 中国語の“包围”の独特な用法及びその日本語訳の特徴
 - 3.3 日中漢字同形語「包围」の語源の調査
- 4 おわりに

1 はじめに

現代日本語と現代中国語において、同じ字形を持っている漢字同形語のうち、意味が同様、または極めて近い同義語だと認められているのに、目標言語に翻訳すると、同じ字形の漢字語で対応できず、他の表現となることが多い。

次に日本語の「区分」と中国語の“区分”を例として挙げたい。

(1) 【中国語原文】植物学家能区分各种不同的植物。

【日本語訳文】植物学者は様々な植物を区別できる。¹

日本語の「区分」と中国語の“区分”は「ある物事を幾つかのグループに仕分ける」という意味を表す場合には共通するが、中国語の“区分”は異なる物事の相違点を分類の基準とするのに対し、日本語の「区分」はその相違点を強調していない。上記の例(1)のように、“区分各种不同的植物”の“区分”は様々な、異なる植物を見分けるという意味を表す。日本語では漢字同形語の「区分」ではなく、「区別する」、「見分ける」で対応することが多い。ただし、中国語の“区別”は通常、日本語の「違い」に対応している。

また、日本語の「安定」と中国語の漢字同形語の“安定”はいずれも同じく「情緒」や「経済」、「政治」などが使用対象となり、落ち着いており、激しい変動がないという意味を表す。次に日本語の「安定」と中国語の“安定”の微妙な相違についてその例文を通して分析する。

(2) 【日本語原文】五歳児は、四歳児よりも、さらに心身共に成熟し、情緒も安定してくるので、仲間との遊びで、喧嘩はときに起きるが、しだいに平和な関係をもつようになる。

【中国語訳文】五岁的孩子比四岁的孩子，在身心各方面都要成熟得多，情绪也要安定得多。尽管和伙伴们一起玩时还爱吵架，但已逐渐能保持和睦关系了。²

日本語の「安定」も中国語の“安定”も「情緒」を使用対象とすることができる。ただし、例(2)が示すように、日本語の「安定」は通常、「～が安定している」の形で使用されているが、中国語の“安定”は形容詞で、“安定的～”“～很安定”の形で用いられる。

以上の「区分」、「安定」という2つの日中漢字同形語の例から分かるように、日中漢字同形語において、意味が共通する場合もあれば、「使用対象」や「品詞性」などにおいて相違点を持っていることもよく見られる。

これらの相違は日本語教科書、日中辞書で取り上げられていないものが多く、中国人日本語学習者（以下「中国人学習者」と称する）は、母国語の中国語の使い方の影響で、これらの日中漢字同形語を誤って使用する人が多い。この問題点を踏まえ、本研究は意味が同じでも用法が微妙に異なる日中漢字同形語の考察に力点を置き、また日本語の類義語と

¹ 特に明記しない限り、全ての日本語の例文は日本語のコーパスである『現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ』、『NINJAL-LWP for TWC』から抽出し、筆者による多少の修正を加えたものである。また、中国語の訳文は全て筆者が訳したものである。

² 本例文は《中日対訳語料庫》から抽出し、筆者による多少の修正を加えたものである。

の共通点と相違点をも視野に入れて考察をする。さらに、アンケート調査を通し、中国人学習者の習得状況を把握し、教育現場でどのように指導するのが良いのかを考える。

2 アンケート調査の詳細と分析

2023年9月27日～10月12日の間、中国のアンケート調査専用のアプリ《问卷星》を利用し、日本在住の中国人留学生、中国の大学の日本語学科で勉強している学生など中国人学習者1000人³を対象とするアンケート調査を行った。

次に3つの節に分け、アンケート調査の結果を交えながら日本語の二字漢語（動詞）の用い方の特徴および中国人学習者の習得状況について分析する。

2.1 意味的相違のある二字漢語（動詞）の習得状況の考察

本節では、日中漢字同形語のうち、中国語で独特の意味を持つ「懸念」、「清算」、「激動」、「檢舉」、「接客」、「接待」、「通報」を例としてアンケート調査を行い、その調査結果に基づき、中国人学習者の日中漢字同形語（意味的相違のある語）の習得状況を分析する。

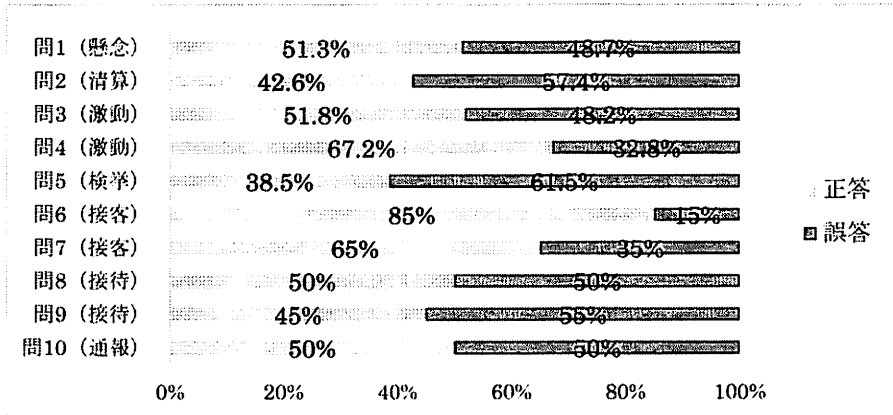
質問文および用い方の習得状況の調査結果は下記に示す通りである。

【表1】 意味的相違のある二字漢語に関わる質問文

問1	「懸念に富んだ文学作品」において、「懸念」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問2	「暴力団の罪悪を清算する」において、「清算する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問3	「私は激動して涙を流した」において、「激動する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問4	「激動する世界情勢」において、「激動する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問5	「悪い奴の罪行を檢舉するべきだ」において、「檢舉する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問6	「日本全国40店の直営店の自社スタッフが直に接客する」において、「接客する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問7	「接客しないと殴られて監禁される」において、「接客する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問8	「観光客7000人を接待した」において、「接待する」の用い方が正しい

³ 本調査では、調査対象となる中国人日本語学習者は、海南師範大学、河北外国語学院、広東外語外贸大学、江蘇師範大学、湖州師範学院、上海外国語大学、上海建橋学院、西安外国語大学、大連外国語学、大連理工大学、天津外国語大学、同濟大学、白城師範学院、復旦大学、北京大学、北京第二外国語大学等に在籍している学生、及び京都外国語大学に在籍している、または既に卒業した中国人留学生計1,000人（すべては日本語学習歴あり）である。

- かどうかを教えてください
- 問9 「人を食事に接待すれば、その人も喜ぶ」において、「接待する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
- 問10 「政府が各交通機関に自主警備の強化を通報する」において、「通報する」の用い方が正しいかどうかを教えてください



【図1】 意味的相違のある二字漢語（動詞）の習得状況

次にアンケートの結果を交えながら、日本語の二字漢語動詞と中国語との意味的相違、及び中国人学習者の習得状況について分析する。

(i) 日本語の「懸念」と中国語の“懸念”の意味的相違

現代中国語の“懸念”と現代日本語の「懸念」の意味は完全に異なっている⁴。日本語の「懸念」は動詞として「権利が侵害されることを常に懸念している」のように使用され、「何かについて気を回して考えている。何かを心配する」という意味を表す。中国語では、「担心”や“顾虑”で表現することが多い。

古代中国語では、漢字同形語の“懸念”は現代日本語の「懸念」と同様、「気にかけている。心配する」という意味で用いられていた⁵。次の例がそれである。

例 (1) 老母家中懸念，只望你衣錦还乡。(お母さんが家の中であなたのことを心配しており、故郷へ錦を飾ることを望んでいる)⁶

(冯梦龙《警世通言》)

⁴ 特に明記しない限り、現代日本語の意味については、北原保雄編(2021)『明鏡 国語辞典』(第三版 大修館書店)による。現代中国語の意味については、中国社会科学院语言研究所(2016)『现代汉语词典』(第7版 商务印书馆)による。

⁵ 特に明記しない限り、古代中国語の意味については、何九盈&王宁&董琨(2017)『辞源』(第三版 商务印书馆)による。

⁶ 特に明記しない限り、全ての中国語文の日本語訳は筆者が訳し、日本語母語話者のチェックを受けたものである。

《警世通言》という本が明末、馮夢竜によって編纂された短編小説集であり、日本語の「懸念」より早いため、現代日本語の「懸念」は古代中国語の意味を引き継いだものと見られる。

一方、現代中国語では、「気にかけている。心配する」という意味が薄くなり、あまり使わなくなった。簡略字とされた“悬念”は名詞として使用されることが圧倒的に多い。この場合、通常“充满悬念的剧情”（サスペンスに満ちたストーリー）、“悬念迭起”（サスペンスが盛り上がる）のように「小説・ドラマ・映画などで、筋の展開や作品に登場した人物の運命などにはらはらする気持ち、サスペンスを表す。

以上のように現代中国語の“悬念”と現代日本語の「懸念」の意味は完全に異なっている。問1「懸念に富んだ文学作品」（中国語式の日本語）を調査の項目とし、「懸念」の用い方が正しいか否かについて、中国人学習者を調査した。その結果、【図 1】に示すように、誤って「正解」を選択した回答者は全体の 48.7%であった。中国人学習者のうち、現代中国語の“悬念”の使い方の影響を受け、日本語の「懸念」を誤用している人が多いということが判明した。

（ii）日本語の「清算」と中国語の“清算”の意味的相違

日本語の「清算」は、①財産や金銭に関わる物事を使用対象とし、貸し借りを計算して決まりをつけること、また解散した団体の財産関係を整理すること、②「関係」や「過去」などの抽象的な物事を使用対象とし、過去の関係や事柄に結末をつけること、という意味を表すのに用いられる。

日本語のコーパスである『日本語歴史コーパス CHJ』と中国語のコーパスである《CCL 語料庫検索系統（网络版）》から収集した例文を分析したところ、日本語では「清算」が初めて 1895 年の『太陽』という雑誌に使用されていたことが分かった。次の例がそれである。

例 (2) 營業滿期に至り營業を繼續せざる國立銀行の解散手續に關しては商法株式會社解散及清算の條項を適用す。

(1895 年『太陽』)

中国語で、“清算”が最初に用いられていた例は清朝末期に遡ることができる。その例は次の通りである。

例 (3) 这笔款子等你的爸爸死了，就本利一律清算归还。（お父様が亡くなったら、元本と利息を含めて全額清算して返済してください。）

(吴趸人《二十年目睹之怪现状》)

例 (4) 还要料理家事，清算田租，盘查各处的帐目。（家事も田租の清算も、あらゆる場所の勘定もしなければならない。）

(张春帆《九尾龟》)

以上の2つの例で分かるように、中国語の最初に用いられていた例が日本語より遅いことから、中国語の“清算”は日本語に由来した可能性が高い。

日本語の「清算」と中国語の“清算”は共通する意味で用いられる場合もあれば、異なる使用場面もある。中国語には、「すべての罪や誤りを列挙した上で、それに応じて適当な処置を取る」という新しい意味が生まれている。この場合、“清算～的罪行”の形でよく使用されている。日本語では、「罪を暴き、責任を問う」で表現することが多い。

日本語の「清算」の使い方の習得状況を把握するため、問2「暴力団の罪悪を清算する」（中国語式の日本語）を調査項目とし、「清算」の用い方が正しいかどうかについてアンケート調査を行った。その結果、【図1】に示すように、誤って「正解」と判断した中国人学習者は回答者全体の57.4%を占め、半数以上にのぼった。この結果から、中国語の“清算”（罪を暴き、責任を問う）の使い方の影響を受け、日本語の「清算」を習得していない中国人学習者が多いという実態が判明した。

（iii）日本語の「激動」と中国語の“激动”の意味的相違

日本語では、「激動」は「激しく揺れ動くこと」を意味しており、「激動する世界情勢」のように、通常「社会」、「世界」、「時代」、「環境」などの態勢や状況の変化を客観的に叙述するのに使用されている。中国語に訳すと、通常、“动荡（不安）”になる。一方、中国語では、漢字同形語の“激动”は何かの刺激を受けて人間の感情が高ぶる、または人間の心を沸き立たせるという意味を表し、“激动人心”の形で使用されることが多く見られる。日本語では「感動させる」で対応することが多い。

問3「私は激動して涙を流した」（中国語式の日本語）を調査項目とし、中国人学習者を対象に調査した。その結果、【図1】が示すように、間違えて「正解」と回答した人は回答者全体の48.2%を占めている。日本語の「激動する」は人を対象として使わない点を理解している中国人学習者が51.8%と多くないということが分かった。問4「激動する世界情勢」（正しい日本語）を調査項目として調査した。「正解」と判断できた中国人学習者は回答者全体の67.2%となった。この結果から、日本語の「激動」が「激しく揺れ動くこと」の意味で用いられることを習得している中国人学習者が多いとは言い難いという実態が判明した。

（iv）日本語の「検挙」と中国語の“检举”の意味的相違

日本語の「検挙」は通常、警察・検察官などが犯罪の容疑者や違反行為を特定することを指し、容疑者の身柄の拘束や逮捕に進む場合に使われる⁷。この点は中国人学習者には難解である。「検挙」は日本語では、「法違反で検挙される」や「容疑で検挙される」などの

⁷ 日本語の「検挙」の定義について、萩原達也（2021）「検挙とは？摘発や逮捕との違いや検挙後の流れについて解説」<https://keiji.vbest.jp/columns/g_other/5155/>（参照日：2023-9-29）による。

ように「～で検挙される」の形で使用され、「何かの原因で逮捕される」、または「拘束される」という意味を表すことが多い。この点、中国語の“検挙”は異なり、中国語では通常、“逮捕”、“拘留”、“被抓”などが対応することが多い。

古代中国語では、“検挙”は①「司法機関や関係部門などに悪事や犯罪行為を告発すること」、②「優れた人材をある職に推薦すること」の意味を表していたが、現代中国語では、①「司法機関や関係部門などに悪事や犯罪行為を告発すること」という意味で、“検挙揭发”（告発する）、または“検挙逃犯”（逃亡者を通報する）の形で使用されることが多い。次の例がそれである⁸。

例(5) 你有勇气检举、揭发污染环境的单位和个人吗？（環境を汚染した組織や個人を告発する勇氣があるのか）

以上の例が示すよう、日中漢字同形語の「検挙」は意味的に異なっている。日本語の「検挙」の習得状況を明らかにするため、問5「悪い奴の罪行を検挙する」（中国語式の日本語）を調査項目とし、中国人学習者を対象に調査した。日本語の「検挙」は「人を検挙する」と言うが、「罪行を検挙する」とは言わない。調査の結果、誤って「正解」を選択した人が回答者全体の61.5%で、半数以上となった。この結果から、中国語の“検挙”の使い方の影響を受け、中国語式の日本語を使用する中国人学習者が多いということも明らかになった。

(v) 日本語の「接客」と中国語の“接客”の意味的相違

日本語の「接客」は通常、「笑顔で接客する」、「店員が丁寧に接客する」、「お客様に接客する」のように用いられ、「お客様をもてなすこと」という意味を表す。中国語に訳す場合、“微笑服务顾客”、“店员礼貌服务顾客”、“接待顾客”のように、“接待顾客”や“服务顾客”で表現することが多い。なぜ現代中国語では“接客”という表現を避けるのだろうか。

古代中国語でも現代中国語でも、“接客”は主として①客をもてなすこと、②売春婦が客を取るということの2つの意味を表す。“餐厅要求所有工作人员微笑接客”（レストラン側はスタッフ全員が笑顔で接客することが求められている）という例文のように、文脈により、客をもてなすという意味を表す場合にも用いられるが、使用場面は少ない。現代中国語では“接客”が単独で用いられる場合、「売春婦として客を取る」という意味で使用されることが多い。これが中国語で“接客”という表現を避ける原因となっている。一方、現代日本語において、「②売春婦が客を取る」という意味で使用されることは少ない。

日本語の「接客」という二字漢語の習得状況を把握するため、問6「日本全国40店の直営店の自社スタッフが直に接客する」（正しい日本語）、問7「接客しないと殴られて監禁される」（中国式の日本語）を質問文とした。調査の結果、【図1】に示すように、問6「日

⁸ 特に明記しない限り、全ての中国語の例文は《BCC 语料库》、《CCL 语料库检索系统（网络版）》から抽出し、筆者による多少の修正を加えたものである。また、日本語の訳文は全て筆者が訳し、日本語母語話者のチェックを受けたものである。

本全国 40 店の直営店の自社スタッフが直に接客する」(正しい日本語)の正解者は全体の 85%となった。日本語の「接客」の正しい用い方を習得した中国人学習者が多いことが分かった。ただし、問 7「接客しないと殴られて監禁される」(中国式の日本語)の正解者は全体の 65%となったが、中国語の“接客”の使い方の影響で、中国語式の日本語を使用する人が少なくないということが分かった。

(vi) 日本語の「接待」と中国語の“接待”の意味的相違

日本語では、「お得意様の外国人を接待すると、夫婦同伴のディナーに付き合わされた」、「役人を招き、料亭で接待する」、「ゴルフ接待」のように、「接待」は、「客をもてなす」の意味の他、「客にごちそうする」、「招待する」という意味で用いられる点が中国語とはやや異なる。この場合、中国語では、“招待”や“款待”で表現することが多い。

古代中国語で、“接待”は客をもてなすことという意味を表していた。現代中国語でも“用米酒和奶茶热情接待客人”(マッコリとミルクティーで親切に客をもてなす)、“按阿曼接待贵宾的习俗，喝咖啡，进甜食”(オマーンの貴賓を接待する習慣に従ってコーヒーを飲み、甘いものを食べる)のように同じ意味で使われている。この点において、現代日本語の「接待」と同じように見えるが、中国語では提供されるのはお茶やお菓子程度である。

下記の例を考える。

例 (6) 中国历史博物馆今天共接待观众 3 千多人。(中国歴史博物館は今日 3000 名余りの観客を受け入れた)

例 (7) 他明天来参观，到时候你接待一下。(彼が明日訪ねてくるから、その時、ちょっと世話してください)

以上の例で分かるように、中国語の“接待”は、①博物館などで観客や利用者などを受け入れること、②訪れてきた人の招き入れ及びその世話を指す場合にも用いられる。これは中国語の“接待”の独特な用い方である。

以上のように、日中漢字同形語「接待」は意味的に異なるところがある。中国人学習者が正しく「接待」を使用できるか否かを確かめるため、問 8「観光客 7000 人を接待した」(中国語式の日本語)、問 9「人を食事に接待すれば、その人も喜ぶ」(正しい日本語)を調査項目に設定した。調査の結果、【図 1】に示すように、いずれの場合も、正解者は全体の 50%以下であった。調査を通し、日本語の「接待」と中国語の“接待”の違いを理解している中国人学習者は少ないということが明らかになった。

(vii) 日本語の「通報」と中国語の“通报”の意味的相違

「通報」は日本語・中国語ともに「伝え知らせること」という意味を表している。だが、伝える側と伝えられる側の立場という点において、日本語・中国語では異なってくる。

日本語の「通報」は通常、目上の担当者や部門、当局、政府などに伝え知らせる場合に

用いられる。「死因に不審を抱いた家族が警察に通報した」、「消費者自らが被害などの情報を関係機関に通報した」、「入居している管理会社に騒音問題で通報する」、「事務局が改正案を締約国に通報した」などがその例である。この場合、中国語では、いずれも漢字同形語の“通報”ではなく、“報告”や“传达”、“举报”などで表現することが多い。

古代中国語、現代中国語とも、“通報”は主として目下の使用人や執事などが目上の主人、官僚などに何かを伝え知らせる場合、特に誰かが訪ねてくる場合によく使用されている。次の例がそれである。

例(8) 玄德教童子且休通报，侧耳听之。(玄德は童子に当分の間、知らせないように頼み、自分が耳を澄まして琴の音を聞いていた)

(罗贯中《三国演义》)

現代中国語の“通報”にはさらに新しい意味が生まれている。“万源县委将这一事件通报全县”(万源県の委員会はこの事件を全县に通達した)、“通报全校，给予表扬”(全校に通達し、表彰をする)のように、“通報”は「上級の機関が文書で所管の機関や職員に通知すること」、上から下へ「通達する」、「広く伝える」という意味で用いられることが多い。

このように、日中漢字同形語「通報」の相違点を理解しているか否かを把握するため、中国語式の日本語の表現「政府が各交通機関に自主警備の強化を通報する」を質問文とした。調査の結果は【図1】に示すように、正解者は半数に過ぎなかった。この結果から、日本語の「通報」を正しく使用できる中国人学習者は多くないということが確認できた。

2.2 使用対象における相違点のある二字漢語(動詞)の習得状況の考察

本節では日中漢字同形語において、使用対象における相違を理解できず、日本語の二字漢語動詞を誤用する例を中心に考察する。とりわけ、「捕獲」、「幫助」、「失敗」、「参加」、「護送」、「扶養」、「熱愛」を例とし、中国人学習者を対象とするアンケート調査を実施した。質問は下記の通りである。

【表2】 使用対象における相違のある二字漢語に関わる質問文

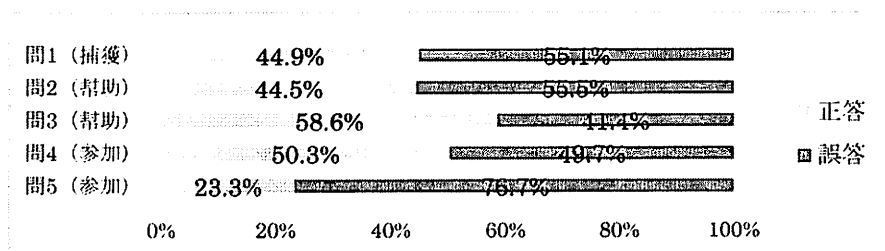
問1	「人々の心を捕獲する」において、「捕獲する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問2	「生活に困っている人を幫助すべきだ」において、「幫助する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問3	「犯罪を幫助したる者すべて有罪」において、「幫助する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問4	「保険に参加する」において、「参加する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問5	「結婚式に参加する」において、「参加する」の用い方が正しいかどうかを教えてください

問6	「犯人を裁判所に護送する」において、「護送する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問7	「代表団を護送する」において、「護送する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問8	「両親を扶養する」において、「扶養する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問9	「子供を扶養する」において、「扶養する」の用い方が正しいかどうかを教えてください
問10	「息子を熱愛する」において、「熱愛する」の用い方が正しいかどうかを教えてください

そのうち、問1～問5に関わる「捕獲」、「幫助」、「参加」の3語は、中国語では意味の幅が広いのに対して、問6～問10に関わる「護送」、「扶養」、「熱愛」の3語は、日本語の意味の幅が中国語より広い例である。

(i) 中国語の意味の幅が広い「捕獲」「幫助」「参加」の考察

日本語より、中国語の方が意味の幅が広い「捕獲」や「幫助」、「参加」についてのアンケート調査の結果は【図2】に示す通りである。



【図2】 中国語の意味の幅が広い二字漢語（動詞）の習得状況

次にアンケートの結果を交えながら中国人学習者の習得状況、日本語と中国語のそれぞれの用い方の特徴を分析する。

①日本語の「捕獲」と中国語の“捕获”の違い

日本語の「捕獲」と中国語の“捕获”は同じく獣や動物を使用対象とし、動物や獣などを捕まえるという意味を表す。しかし、中国語の“捕获”は“捕获人心”（人々の心を掴む）、“捕获信息”（情報を捉える）のように、「人々の心」や「情報」など抽象的な物事を使用対象として用いられることも多い。この場合、日本語では通常、「掴む」や「捉える」で表

現する。

問1「人々の心を捕獲する」(中国語式の日本語)の漢語「捕獲する」の用い方が正しいか否かについて調査した。調査の結果、【図2】に示すように、間違えて「正解」と判断した中国人学習者は回答者全体の55.1%を占め、半数強となった。この結果から、中国語の“捕獲”の使い方の影響で、日本語の「捕獲」を正しく使用できていない中国人学習者が多いという習得現状が判明した。

②日本語の「幫助」と中国語の“帮助”の違い

日中漢字同形語「幫助」は同じく「手を貸すこと。手助け」という意味を表す場合に用いられるが、日本語の「幫助」は通常、「逃亡を幫助する」、「横領の幫助」、「隠蔽の幫助」、「幫助罪」、「自殺幫助」のようにマイナス評価の物事を使用対象として使われる。

一方、中国語の“帮助”はマイナス評価の物事も、プラス評価の物事も使用対象とする。次の2例がそれである。

例(8) 我一路上, 多亏得他幫助。(道中で色々手助けしてもらった)

(佚名《老乞大新释》)

例(9) 樊哙不合纵妻吕须幫助吕后为虐。(樊哙は妻の呂須が呂後の悪行に手を貸すことを放任するべきではない)

(冯梦龙《喻世明言》)

上記の2例のように、古代中国語では、“帮助”は良い面において他人の手助けになる場合に使用されたと同時に、悪行に助力する場合にも使用されていた。マイナス評価の物事を使用対象として使われることが多い日本語の「幫助」は古代中国語の用法を引き継いだものと見られる。

「悪事の手助けをした」という意味で広く使用されている現代日本語の「幫助」とは異なり、現代中国語の“帮助”は“幫助孩子们实现梦想”(子供たちの夢を実現することに手助けをした)のように、プラス評価の物事を使用対象として他者の力になる、手助けをするという良い意味で用いられることが多い。

今回の調査では問2「生活に困っている人を幫助するべきだ」(中国語式の日本語)、問3「犯罪を幫助したる者すべて有罪」(正しい日本語)を設問した。調査の結果、【図2】に示すように、問2「生活に困っている人を幫助するべきだ」(中国語式の日本語)において、間違えて「正解」を選択した回答者は全体の55.5%を占めている。また、問3「犯罪を幫助したる者すべて有罪」(正しい日本語)を間違えて「不正解」とした回答者は全体の41.4%であり、回答者の約半分となった。この結果から、中国語の“帮助”の用い方の影響で、日本語の「幫助」の用い方を習得していない中国人学習者が多いということが明らかになった。

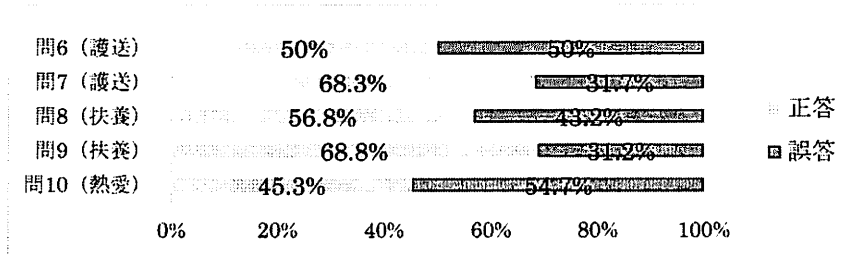
③日本語の「参加」と中国語の“参加”の違い

日本語では、「活動に参加する」や「会議に参加する」、「大会に参加する」、「イベントに参加する」と多く使用される。一方、中国語では、“参加活動”（活動に参加する）の他、“参加結婚典礼”（結婚式に出席する/列席する/参加する）、“参加工作”（就職する）、“参加保険”（保険に加入する）、“参加考試”（試験を受ける）など、「結婚式」、「仕事」、「保険」、「試験」などにも“参加”が用いられる。使用範囲は日本語の「参加する」よりも広い。

今回の調査では問4「保険に参加する」（中国語式の日本語）、問5「結婚式に参加する」（中国語式の日本語）を設問した。調査の結果、【図2】に示すように、問4「保険に参加する」が日本語文として成り立つと判断した中国人学習者が回答者全体の49.7%を占め、約半数となった。日本語では「結婚式に参加する」より「結婚式に出る/参列する」の方がよく用いられている。しかし、中国語の“参加婚礼”の影響で、「参加する」を選択した中国人学習者は回答者全体の76.7%に上った。この調査の結果から、中国語の“参加”と日本語の「参加」の微妙な相違を理解する中国人学習者が少ないということが判明した。

(ii) 日本語の意味の幅が広い「護送」「扶養」「熱愛」の考察

中国語より、日本語の方が意味の幅が広い「護送」、「扶養」、「熱愛」についてのアンケート調査の結果は【図3】に示す通りである。



【図3】 日本語の意味の幅が広い二字漢語（動詞）の習得状況

次にアンケートの結果を交えながら中国人学習者の習得状況、日本語と中国語のそれぞれの用い方の特徴を分析する。

①日本語の「護送」と中国語の“护送”の違い

日中漢字同形語の「護送」は何かの物事、何者かの安全を守るための行為を表す点においては共通する。しかし、中国語の“护送”は、通常“护送病人”（患者を護送する）、“护送学生”（学生を付き添って送る）のように人間を使用対象とする他、“护送大熊猫”（パンダを護送する）や“护送灵柩”（柩を護送する）など、動物や大切な物事をも使用対象とされている。日本語の「支援物資の輸送隊を護送する」や「百姓どもを安全に目的地へ護送」

する」を中国語に訳す場合、漢字同形語の“护送”で対応し、“护送支援的运输队”、“把百姓们安全地护送到目的地”となる。日本語では、この使い方は中国語と共通するが、使用頻度が低い。一方、中国語の“护送”とは異なり、日本語の「護送」は中国語の“押送”と同様、「犯人」や「受刑者」などを使用対象とし、身柄を拘束して他の場所に送るという意味を表すこともできる。この場合、中国語では“护送”ではなく、“押送”と言う。

問6「犯人を裁判所に護送する」、問7「代表団を護送する」はそれぞれ「犯人」、「代表団」を使用対象とし、日本語の「護送」と共に用いられるか否かについて、中国人学習者に尋ねた。その結果、【図3】に示すように、問7「代表団を護送する」は、正解者が回答者全体の68.3%を占めたのに対して、日本語独特の表現である問6「犯人を護送する」は、正しく判断できた回答者は50%にとどまった。中国語には「犯人を護送する」という言い方がないからである。この結果から、中国語の“护送”の用い方の影響で、日本語独特の用い方の習熟度が低いことが明白となった。

②日本語の「扶養」と中国語の“抚养”の違い

日中漢字同形語の「扶養」は同じく誰かが生活できるように世話をするという意味を表す。しかし、中国語では、“抚养孩子”（子供を扶養する）、“抚养弟妹”（兄弟を扶養する）のように、扶養される側は通常目下の親族である。これに対して、日本語では、「子供を扶養する」、「親を扶養する」、「家族を扶養する」など、使用対象が目上か目下かには関わらず、「扶養」が用いられる、という特徴が窺える。

中国語の使い方の影響で誤用することが多いのか否かについて、問8「両親を扶養する」、問9「子供を扶養する」を設問にした。調査の結果、【図3】に示すように、中国語と同じ言い方の「子供を扶養する」は、正解者が全体の68.8%を占めている。一方、日本語独特の言い方の「両親を扶養する」は、正解者が56.8%であった。この結果から、中国語と同じ用い方は習得しやすく、日本語独特の言い方だと、習得率が低くなるという傾向が見られた。

③日本語の「熱愛」と中国語の“热爱”の違い

日本語でも中国語でも、日中漢字同形語の「熱愛」は熱烈に愛していることを意味するが、中国語の“热爱”が主として国家、社会、民衆、事業などを使用対象として用いられるのに対して、日本語の「熱愛」は抽象的な物事である「主義」や「文化」の他、具体的な人物である「彼女」などを使用対象に用いられる、という特徴が見られる。この場合、中国語に訳せば、通常“深爱着她”になる。

正しい日本語の表現である問10「息子を熱愛する」が正しいか否かという質問に対して、【図3】に示すように、間違えて「不正解」を選択した回答者が全体の54.7%で、半数以上となった。この結果から、中国語の“热爱”の使い方の影響で、日本語の「熱愛」の用い

方を間違えている中国人学習者が多いという実態が浮き彫りになった。

2.3 品詞的には異なっている二字漢語（動詞）の習得状況の考察

本節では品詞的には異なっている二字漢語（動詞）の習得状況に関する調査の結果を分析する。日中漢字同形語において、品詞的に異なっている語がたくさんある。このような二字漢語動詞の使い方の習得状況を明らかにするため、「傑出」、「緊迫」、「興奮」、「混乱」、「困惑」という5語を例とし、中国人学習者を対象とするアンケート調査を実施した。

質問文および使い方の習得状況の調査結果は下記に示す通りである。

【表3】 品詞的には異なっている二字漢語に関わる質問文

問1	あの人は___人材である。 A 傑出な B 傑出的な C 傑出した
問2	___情勢に対応するために何をすべきか。 A 緊迫な B 緊迫的な C 緊迫した
問3	___時は、呼吸が浅く、速くなっている。 A 興奮な B 興奮的な C 興奮した
問4	バランスを失い、___状態になってしまう。 A 混乱な B 混乱的な C 混乱した
問5	彼女は何の事か分からず、___表情を見せる。 A 困惑な B 困惑的な C 困惑した



【図4】 中国語で形容詞として機能している二字漢語（動詞）の習得状況

次にアンケートの結果を交えながら、中国人学習者の習得状況、日本語と中国語の意味的相違を分析する。

日本語では、「傑出」は「傑出した」の形で「人材」など優れた人を修飾することが多く見られる。他にも、「傑出した人材」や「傑出した人物」、「傑出した才能」などの言い方もある。中国語では、通常“杰出(的)人才”、“杰出(的)人物”、“杰出(的)才能”など、形容詞である“杰出(的)”＋名詞の形で対応する。

問1「あの人は___人材である」を調査項目としてのアンケート調査の結果、【図4】のように、正しく「傑出した」を選択した回答者は全体のわずか18.7%で、かなり低い正解率であった。間違えて「傑出的な」を選択した回答者が最も多く44.3%で、「傑出な」を選択した回答者は全体の37%で、いずれも正解の「傑出した」の回答者より多かった。

この結果から、中国語の“杰出(的)”の使い方の影響で、日本語の「傑出」を形容詞と思いつく中国人学習者が多いという実態が判明した。

「傑出」と同様、漢語「緊迫」、「興奮」、「混乱」、「困惑」は「緊迫した」、「興奮した」、「混乱した」、「困惑した」の形で、名詞を修飾する場合によく用いられる。「緊迫した情勢」、「興奮した時」、「混乱した状態」、「困惑した表情」を中国語に訳すと、漢字同形語を使った“緊迫の形势”、“兴奋时刻”、“混乱的状态”、“困惑的表情”になる。

問2「___情勢に対応するために何をすべきか」は「緊迫な」、「緊迫的な」、「緊迫した」の三者択一の調査項目である。その結果、【図4】に示すように、正解である「緊迫した」を選択した回答者は全体の24.2%であり、不正解の「緊迫な」、「緊迫的な」よりも低かった。

問3「___時は、呼吸が浅く、速くなっている」の場合は「興奮な」、「興奮的な」、「興奮した」の三者択一を調査項目として中国人学習者に調査した。その結果、【図4】のように、正しく「興奮した」を選択した回答者は全体の41.2%で、回答者の半分よりも少なかった。

問4「バランスを失い、___状態になってしまう」も「混乱な」、「混乱的な」、「混乱した」の三者択一の場面であった。調査の結果、【図4】に示すように、正解の「混乱した」を選択した回答者は全体の26.5%であり、最も低かった。

問5「彼女は何の事か分からず、___表情を見せる」は「困惑な」、「困惑的な」、「困惑した」の三者択一を調査項目とした。調査の結果、【図4】に示すように、「困惑した」を選択し正解者は全体の29.3%を占め、低かった。

以上の調査の結果から分かるように、正解率が41.2%である問3以外、正しく「傑出した」、「緊迫した」、「混乱した」、「困惑した」を選択した回答者はいずれも30%以下であった。この結果から、中国語の用い方の影響で、形容詞としての機能を果たしている日本語の漢語動詞の用い方を習得できていない中国人学習者が多いということが明らかになった。

3 日中漢字同形語および類義の和語の使い分け

日本語と中国語は意味的に共通しているが、中国語を日本語に訳す場合、必ずしも日本語の漢字同形語になるとは限らず、類義の和語で対応することもよくある。

次に日本語の「包圍」と中国語の“包围”を例として検討する。

3.1 日本語の「包圍」と中国語の“包围”の共通している用法

例文調査を通し、日中漢字同形語「包圍」はともに「取り巻くこと。包み囲むこと」という意味を表し、敵に囲まれるなどのような窮境に陥った状況を示す場合に使用されることが多い。次にその例である。

例(10) 1585年8月、豊臣秀吉は佐々成政の富山城を10万の大軍で包圍し、佐々成政は織田信雄の仲介により無血降伏した。

(中国語訳文：1585年8月，丰臣秀吉率10万大军包圍了佐佐成政的富山城，佐佐成政在织田信雄的调停下没有抵抗就投降了。)

例(11) 上百学生拧成了一座人的铁壁，开始愤怒地猛烈地向包圍他们的警察冲击过去。

(日本語訳文：数百の学生は人間の鉄壁を築き、自分たちを包圍した警察に、怒りの形相と猛烈な勢いで突っ込んでいった。)⁹

例(10)において、日本語原文は、豊臣秀吉の率いる10万の大軍が動作主として富山城を「包圍」し、城内の人々を逃げられないようにするという状況を表す。中国語に訳す場合、“包围”になる。また、例(11)において、中国語原文の“包围”は警察が学生たちの行動の自由を奪うために周囲を取り囲んだという行動を示し、日本語の「包圍」と同義であるため、日本語訳文では漢字同形語の「包圍」を用いることができる。

3.2 中国語の“包围”の独特な用法及びその日本語訳の特徴

日本語の「包圍」に比べ、中国語の“包围”が持つ意味や用法の範囲は広い。《BCC 语料庫》で調査したところ、中国語では“包围”の使用対象及びそれが表す意味に応じて下記の5つのタイプに分けられることが分かった。

(i) 人間が動作主となり、誰かを囲んでいる場合、中国語の“包围”は用いられるが、日本語の「包圍」は用いられない

例(12) 我不知道该怎么推辞、怎么感谢，只好求援地回头找妹妹，却发现她和爸爸妈妈也都被热情的人们包围着。

(日本語訳文：どうやって皆さんに感謝したり断ったりしたものか、途方に暮れて妹を見ると、彼女と両親も親切な人々に囲まれて歓迎責めに遭っていた。)

例(12)においては、中国語原文の“包围”は、動作主である親切な人々が話者とその家族に自分たちの愛や情熱などの好意を示すために取った行為であり、プラス評価の意味を表す場合に用いられる。この場合、日本語訳文では漢字同形語の「包圍」ではなく、通

⁹ 本例文は《中日対訳語料庫》から抽出し、筆者による多少の修正を加えたものである。

常、類義語である和語の「囲む」、または複合語の「取り囲む」などで対応する。

(ii) 「火」や「洪水」などに囲まれ、身に危険が迫る状態を叙述する場合、中国語では“包围”を用いることができるが、日本語では「包围」は用いない

例(13) 据目击者说, 发生事故的夜总会正在举行音乐会, 会场燃放的烟花引着了天花板上的易燃物质, 大厅在几分钟内就被熊熊大火包围。

(日本語訳文: 目撃者によると、事故が起きたナイトクラブではコンサートが開かれていた。会場で打ち上げられた花火が天井の引火物質に燃え移ったため、会場が数分で焔に包まれたということだ。)

例(13)で示されるように、“大火”に囲まれ、自由に移動できない場合、中国語では“包围”を使用することができるのに対し、日本語では、漢字同形語の「包围」ではなく、類義である和語「包む」の受身形「～に包まれる」の形で対応することが多い。

他にも、中国語では、“被洪水包围”や“被烟雾包围”などのように、“包围”を使って危険が身に迫る状態を表すことも多いが、日本語に訳す場合、「～に包まれる」になる。

このように、人間だけではなく、「火」や「洪水」などの危険な物事に包まれ、人間自身が不自由な状況に追いやられてしまうことを表す場合、中国語では“包围”が用いられるが、日本語では、通常、漢字同形語の「包围」ではなく類義和語の「包む」で対応する。

(iii) 自然環境を叙述するのに中国語の“包围”は用いられるが、日本語の「包围」は用いられない

例(14) 星期天的早晨, 被柳树包围的五里庄的小河边, 来了十几个旅行的小学生, 顿时就热闹起来了。

(日本語訳文: 日曜の朝、柳の木に囲まれた五里庄の小川のほとりは、十数人の生徒たちが遠足にやって来ると、たちまちにぎやかになった。)

例(15) 老挝非常想从一个被陆地包围的国家成为一个互联互通的国家。

(日本語訳文: ラオスは陸の国境に囲まれた国から世界と繋がっている国に転換することを切望している。)

例(14)が示すように、中国語では、“包围”は人間ではなく、植物である「柳の木」と共に使用され、自然環境を叙述する。また、例(15)においては、“被陆地包围”が使用され、ラオスという国の地理的環境の特徴を客観的に述べている。この場合、日本語では「自然に包まれる」、「海に包まれる」、「緑に包まれる」のように、和語表現「～に包まれる」で対応することが多く、日本語の漢字同形語「包围」は用いられない。

(iv) 身の周りにたくさん存在しているという意味を表す場合、中国語の“包围”は用い

られるが、日本語の「包圍」は用いられない

例 (16) 人最幸福的, 并不是终于得到了一束花, 而是永远被花包围着。

(日本語訳文: 人間として最高に幸せなことは、なんとか花束を手に入れることではなく、常に花に囲まれていることだ。)

例 (17) 李敖争的是社会公义, 他不是个容易被小人包围、被小人灌迷汤的人。

(日本語訳文: 李敖が社会の正義のために戦っている。彼は簡単にその辺の輩に囲まれて迷湯を飲まされる人ではない。)

例 (16) と例 (17) において、使用対象が“花”、“小人”であり、いずれも手で触ることができる具体物である。ただし、中国語原文では、“被花包围着”、“被小人包围”という言い方を通し、身の回りに「花」がたくさんある、または「その辺の輩」が次々と出てくるということを強調している。しかし、日本語の漢字同形語「包圍」は同様の意味を表さないため、このような場合、類義の和語「～に囲まれる」の形で表現することが多い。

(v) 何かの感じなどに囲まれ、何かを感じるという意味を表す場合、中国語では“包围”が用いられるが、日本語では「包圍」が用いられない

例 (18) 清晨的楼道里空空荡荡的, 见不到一个人影。她茫然地看着四周, 一种难以抵抗的孤独感包围了她。

(日本語訳文: 朝の廊下はがらんとして誰もいない。ぼんやりとあたりを見回すと、ある種のたまらない孤独感が彼女を包んだ。)

上記の例 (18) が示すように、「孤独感」という人間の気持ちを示す抽象的な物事に包まれるという意味を表す場合、中国語原文では“包围”を使って主語の「彼女」が周囲の環境からの影響を受けた心理状態を表している。それに対して、日本語では同じ意味を表すのに、漢字同形語の「包圍」ではなく類義語である和語「包む」が使用される。

例 (19) 喧天的锣鼓, 欢响的鞭炮, 铺天盖地的彩旗, 飘飘扬扬的气球……我一踏上壶江岛, 就被喜庆欢乐的气氛紧紧包围了。

(日本語訳文: 音が空まで響く銅鑼や太鼓、鳴り響く爆竹、天を覆い地に被せる色とりどりの旗、ひらひらと揺れる風船……壺江島に足を踏み入ると、喜ばしくて楽しい雰囲気に包まれる。)

例 (19) に示されるように、「雰囲気」などの手で触ることができない趣や様子のような抽象的なモノに包まれることを表す場合、中国語原文では“包围”を用いて周りから感じられる様子やあり様を表す。この場合、日本語では通常、漢字同形語の「包圍」ではなく、類義である和語の「包む」が用いられる。

3.3 日中漢字同形語「包圍」の語源の調査

次に中国語の“包围”と日本語の「包圍」の語源について考察する。

(i) 中国語の“包围”の語源について

《CCL 语料库检索系统 (网络版)》で調べたところ、中国語の“包围”の由来は晋の時代に遡ることが分かった。下記の例文がそれである。

例 (20) 且夫腹背虽包围五藏，而五藏非腹背之所作也。(それに腹部と背中では五臓を取り囲んでいるが、五臓は腹部と背部から生まれたものではない)

(葛洪《抱朴子》)

上記の例 (20) において、“包围”は腹部と背中が5つの臓器を取り囲んでいるということを表している。この用法は現代中国語には残っているが、現代日本語の「包圍」には見られない。

また、「敵を包圍する」というように軍事行動にかかわる用語として使用されたのは明の時代からである。下記の例 (21) がそれである。

例 (21) 忠同五将被二路军马包围而来，皆被杀死。(忠と他の4人の将軍が二路の軍馬に包圍され、5人が皆殺しにされた)

(佚名《两晋秘史》)

上記の例 (21) が示すように、敵軍が忠をはじめとする5人の将軍を囲み、全員を殺したという意味を表す場合、古代中国語の“包围”が用いられる。この意味においては、現代中国語の“包围”は現代日本語の「包圍」と共通している。

(ii) 日本語の「包圍」の由来について

文献調査と例文調査を通して、日本語の「包圍」が古代中国語の“包围”に由来することが分かった。

『日本語大辞典』で調べたところ、日本語で「包圍」が初めて使用された例は下記の例 (22) のようなものであった。

例 (22) 「地球の全周は一種の流動体ありて之を包圍せり」

(S・G・グードリッチ著, 須川賢久訳『具氏博物学』)

日本語の「包圍」の最初の使用例は、1876年に欧米で刊行された博物学に関する著作の日本語の訳本に登場したものである。上記の例 (22) が示すように、この時期、日本語の「包圍」は流動体が地球全体を取り囲むという意味で用いられ、古代中国語の“包围”、現代中国語の“包围”と同義であったが、現代の日本語の「包圍」の使い方とは異なっている。

例 (23) 「師團の攻撃は前衛司令官大迫少將佐藤聯隊を率ゐる季家窩甫より牛莊城の北面を攻撃し、大島少將其の旅團の大部を率ゐる季家窩甫より迂回し、城の西北より包圍し、……」

(『太陽<1895-4> [軍事]』)

上記の例 (23) が示すように、日本語では、漢語「包圍」が初めて「敵を逃げられない状態にする」という軍事行動を表す際に用いられたのは、1895年に『太陽』という雑誌に

発表された文章においてであった。

以上の考察により、日本語の「包囲」は古代中国語の“包围”に由来した語であるが、現代日本語では、実際には何かの物事を取り囲むのに使用されることが少なくなり、主として「敵の包囲」のように使用されていることが分かった。

4 終わりに

本研究では、中国人学習者 1000 人を対象とする大規模のアンケート調査を通して、日本語の二字漢語（動詞）の用い方の特徴に関して、学習者の習得状況を明らかにした。また、日本語の「包囲」と中国語の“包围”を例とし、日中漢字同形語および類義和語の使い分けについても考察した。

その結果、下記の 4 点が挙げられる。

(Ⅰ)「懸念」、「清算」、「激動」、「検挙」、「接客」、「接待」、「通報」のように、日本語の二字漢語（動詞）と中国語の漢字同形語は意味的に異なるが、中国語の漢字同形語の用い方からの影響を受け、中国人学習者は中国語式の日本語を誤用することが多かった。

(Ⅱ) 使用対象における相違点のある二字漢語（動詞）の習得状況について、「捕獲」、「幫助」、「失敗」、「参加」など中国語は日本語より意味の幅が広い場合、中国語の漢字同形語の用い方の影響で、正しい日本語を用いられない中国人学習者が多かった。また、「護送」、「扶養」、「熱愛」、「奮闘」など日本語は中国語より意味の幅が広い場合、中国人学習者は中国語と同じ表現を習得しやすいが、日本語独特の表現の習熟度が低い、という特徴も窺えた。

(Ⅲ) 品詞的には異なる二字漢語（動詞）の習得状況について、中国語の用い方の影響により、「傑出」、「緊迫」、「混乱」、「困惑」を形容詞と思い込み、誤って使用する中国人学習者が多かった。

(Ⅳ) 日本語の「包囲」は古代中国語の“包围”に由来するが、何かの物事を取り囲むという意味が薄くなり、主として「敵の包囲」のように用いられる。一方、現代中国語の“包围”は①悪意を持たずに誰かを囲むというマイナスではない評価を表す、②「植物」や「海」などの物事が使用対象となり、自然環境や地理環境の特徴を客観的に叙述する、③「火」や「洪水」などの災害に関わるモノゴトが使用対象となり、危険が身に迫る状態を表す、④気持ちや雰囲気を示す抽象的な物事に囲まれる、⑤比喩的な表現で使用され、身の周りにたくさん存在しているという意味を表す、といった 5 つの場合にも使用できる。それに対して、日本語の漢字同形語「包圍」にそのような用法が見当たらず、類義和語の「囲む」、「取り囲む」、「包む」などで表現することが多い。

参考文献

荒川清秀.1979.「中国語と漢語--文化庁『中国語と対応する漢語』の評を兼ねて」.『文學論

叢』(62):1-28. 愛知大學文學會.

大河内康憲.1997.「日本語と中国語の同形語」.大河内康憲.『日本語と中国語の対照研究論文集』.東京:くろしお出版.

北原保雄.2020.『明鏡国語辞典 第三版』.東京:大修館書店.

文化庁.1978.『中国語と対応する漢語』.東京:大蔵省印刷局.

北京・对外経済貿易大学・北京・商務印書館・小学館.2006.『日中辞典 第2版』.東京:小学館.

北京・商務印書館・小学館.2003.『中日辞典 第2版』.東京:小学館.

中国社会科学院语言研究所编.2016.《现代汉语词典 第7版》.北京:商务印书馆.

用例出典

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ』

(<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>)

国立国語研究所『日本語歴史コーパス CHJ』

(<https://chunagon.ninjal.ac.jp/chj/search>)

『NINJAL-LWP for TWC』は、日本語のウェブサイトから収集して構築した約 11 億語のコーパス『筑波ウェブコーパス』(Tsukuba Web Corpus : TWC) を検索するためのツールである。(<https://tsukubawebcorpus.jp/>)

荀恩东・饶高琦・肖晓悦・臧娇娇.2016.〈大数据背景下 BCC 语料库的研制〉.《语料库语言学》(3):93-118.

徐一平.2003.《中日对译语料库》.北京:北京日本学研究中心.

詹卫东・郭锐・谌贻荣.2003.《CCL 语料库检索系统(网络版)》.北京大学中国语言学研究中国.